



～動物とよりよく共生し終生飼養するために～



飢え・渇きからの自由

動物にとって、食餌はとても大切です。動物の種類や健康状態にあった適切なフードを与え、水はいつでも新鮮なものが飲めるようにしましょう。

痛み・負傷・病気からの自由

けがや病気の場合には適切な医療を受けさせましょう。日頃から病気の予防を心がけ、健康状態をチェックしましょう。



不快からの自由

清潔で安全で快適な飼養場所を用意して、動物が快適に過ごせるようにしましょう。



五つの自由

本来の行動がとれる自由

それぞれの動物が本能や個性に合った動物本来の行動がとれるように工夫しましょう。



恐怖・抑圧からの自由

動物が恐怖や抑圧を受けないように、また精神的な苦痛や不安の兆候を示さないように的確な対応をとりましょう。



5つの自由とは、1960年代のイギリスで提唱された考え方で、動物が生きていくために必要な要求が満たされて、動物が心地よく、安心して安全に暮らしているかを確かめるための指標です。飼い主は、5つの自由を踏まえ、できる限りペットが快適に生活ができるようにお世話をし、ペットから飼い主も希望を与えられる中で、終生飼養に努めましょう。